

道心

DO-SHIN

伝教大師 天台法華宗年分学生式より



照于一隅
忘己利他
能行能言

伝教大師幼形像

今こそ、人間教育を

毘沙門堂門跡門主（前学園長） 森川宏映

昨年11月に門主に就任した山科の毘沙門堂は、行基菩薩が開いた寺とされ、五ヶ室門跡の中では最も古く、洛北にあった時代もあるが、応仁の乱などでたびたび焼かれ、江戸時代に現在の地に移ったもので、静かな佇いの中にも、堂々たる偉容を誇っている。

これまで山林のこと、学校のこと、会社のことなどと、拝むことと縁の遠い仕事ばかりをしてきた私に、こんな立派なお寺を預る資格があるのかと、今なお忸怩たる思いだが、毘沙門天王功德経の中に、毘沙門さんは無量の智恵や福德を与えて下さる。ただし条件がある、自らの行いを正し、みんなの幸せ、社会が明るくという願いを持って拝まないと、智恵も福德も与えないと書いてある。

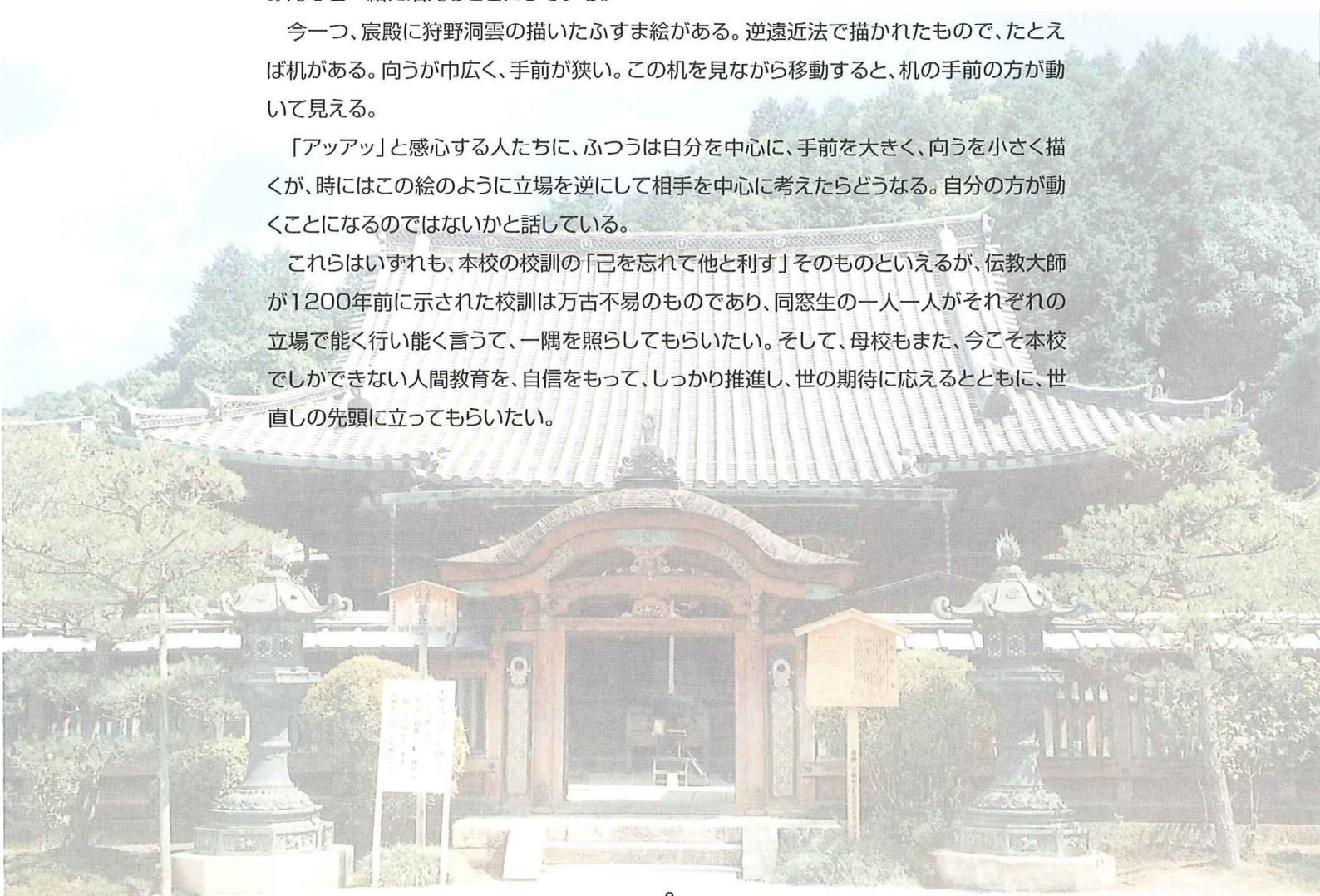


昨今の凶悪事件をみると、あまりにも己のことしか頭にない。私らは一人で生きているのではない。多くの人のご縁をいただいて生かされていることに感謝し、みんなの幸せを考えることが一番大切。その辺りのことを分かってもらえるようにするのが、寺の務めではないか。あまり自信はないが、自分なりにやってみようと、早速、功德経を和文に読み下し、みんなと一緒に唱えることにしている。

今一つ、宸殿に狩野洞雲の描いたふすま絵がある。逆遠近法で描かれたもので、たとえば机がある。向うが巾広く、手前が狭い。この机を見ながら移動すると、机の手前の方が動いて見える。

「アッアッ」と感心する人たちに、ふつうは自分を中心に、手前を大きく、向うを小さく描くが、時にはこの絵のように立場を逆にして相手を中心に考えたらどうなる。自分の方が動くことになるのではないかと話している。

これらはいずれも、本校の校訓の「己を忘れて他と利す」そのものといえるが、伝教大師が1200年前に示された校訓は万古不易のものであり、同窓生の一人一人がそれぞれの立場で能く行い能く言うて、一隅を照らしてもらいたい。そして、母校もまた、今こそ本校でしかできない人間教育を、自信をもって、しっかり推進し、世の期待に応えるとともに、世直しの先頭に立ってもらいたい。



福祉を学ぶ

～卒業生との交流を通じて～

昨年のミニフォーラム「アジアの子どもたち」に続いて、人権教育の一層の充実をはかる目的で、今年の2月に、ミニフォーラム「福祉を学ぶ」を開催した。

本校では、同和教育をはじめ様々な人権教育をおこなっている。その人権学習の取り組みのひとつに、滋賀県の湖西地区の高等学校が共同して実施している映画鑑賞がある。

そして、前年に鑑賞したのが、知的障害者の自立をテーマとした「どんぐりの家」である。

ご存知の通り、本校の近隣には、養護学校や高齢者のための老人ホーム、また、障害者の共同作業所が多くある。日頃は、茶道部が老人ホームでお茶会をひらいたり、ボランティア委員会が養護学校と交流をおこなったりしている。昨年の叡友祭(文化祭)の時には、「みどり園」のみなさんを招待し、ともに「アジアの子どもたち」のためのバザーをおこない、交流を深めることができた。

このように、映画「どんぐりの家」鑑賞を機会に、日頃のボランティア委員会や茶道部の活動を紹介するとともに、みんなで障害者や高齢者への理解を一層深めることを目的として、今回のフォーラム2000「福祉を学ぶ」を実施した。

フォーラムを開催するにあたって、今回は、みんなが積極的に参加する方法として、生徒会の福祉委員会やボランティア委員会の運営する“分科会形式”にした。そのためにも、福祉に携わっておられる多くの先輩(卒業生)にパネラーをお願いすることになった。

この方法によって、生徒たちがそれぞれ希望する分科会を選び、パネラーと手のとどく距離で“福祉”を学ぶことができるというメリットをもつことができた。

パネラーのみなさんには、それぞれの学校や施設の紹介にはじまり、仕事の内容や自分たちがその仕事にかかわったきっかけなどを報告していただいた。分科会の終了後、パネラーのみなさんにおくる『メッセージカード』記入を最後に、フォーラムの幕を閉じた。

多くの生徒は、「いそがしいところを自分たちのためにパネラーをひきうけていただいたことへのお礼」や、「日頃の活動への尊敬の気持ちと激励のこたば」を述べていた。そのほか、「はじめて“福祉”というものにふれた気がする」、「家族(祖父母)を見る目が変わった」、「福祉の仕事への興味・関心が強くなった」などの感想もあり、今回のフォーラムは、卒業生である先輩との交流を通じて、“福祉”を身近なこととして主体的に見つめることができ、校訓「一隅を照らす」「能行能言」「忘己利他」の実践につながる貴重な体験となった。



【パネラーのみなさん】

- 山田明彦さん(天津市社協“車椅子”)
- 亀山昌文さん(大学生ボランティア“車椅子”)
- 太田容次さん(滋賀大附属養護学校教員)
- 伊原雅代さん(滋賀大附属養護学校教員)
- 鈴木なすなさん(石部あざみ寮)
- 高橋善洋さん(北大津養護学校教員)
- 山川恵子さん(今津清湖園)
- 岸本景子さん(今津病院医師)
- 桜井滋人さん(棒原の里)
- 瀬尾みどりさん(真盛園)
- 原田裕世さん(大学生ボランティア“おさかなの目”)
- 石津さおりさん(真盛園)
- 松田紀子さん(介護福祉専門学校生)
- 奥村康典さん(棒原の里)
- 林 俊明さん(棒原の里)

※“福祉”に携わっている卒業生”の連絡先
(077-525-9316 山田明彦さん)

どうしん ネットワーク

DO-SHIN ● NETWORK

このコーナーでは、卒業生・同窓会会員・ご愛読者の方々からのお便りやインフォメーション、当校の最新情報などを満載してお届けします。

本年春、これまで長年お世話になりました、前川忠夫先生、小川和照先生がご退職になりました。先生方の近況や思い出を語っていただきました。

前川 忠夫先生

私の集落にまだ電話のあるお家が2戸しかないころ、当時の学校長、矢田部先生より、呼び出し電話があり、「どこへもいかず必ず勤めて下さい。」というお知らせをいただき、ご厄介になったのが昭和32年でした。

公立学校のみで育った私にとって、生徒の名前は苗字(姓)で呼ばず、一郎、和子…等“名”で呼んでおられるのに驚きながら、何か厳しさの中にぬくもりを感じつつ、教員生活のスタートをきらせていただきました。

まだテレビのない頃、中学、高校合同の体育祭は坂本では大きな催しの一つになっていたようで、応援見学のために早くから場所とりをこられる方もあるという盛況でした。新人教師はそのプログラムのメイン花笠踊りで踊るのが慣例だと云われて、姉のゆかたを着て女子生徒の輪の中に入って踊ったことが思い出の一つです。

昭和40年代に入り修学旅行で集団食中毒に会い、宮島で17名の生徒と残留。学校に連絡をと電話をしますが、なかなか通じず大変でした。特急の電話で1時間弱待ってやっと通じる状態。先に出発した本隊と連絡をとるのに、国鉄(現JR)

内の専用一方通行の電話を利用しましたが、質問5つに対してまともに返事があったのは3つだけという、現在では考えられない状況でした。

このとき残留生と広島より大津まで“着払い”で帰って来たことが今ではなつかしい思い出です。

平成に入って、百年前の電気の発見と同等いやそれ以上の力をもって長期的発展の起爆剤になるのではないかとわれているIT革命で今ではどこにいても瞬時に連絡がとれる時代になってきました。

そしてその技術革新が急激でこの世界の1年間の変化は、それ以外の世界の7年分に相当するといわれています。以前より「10年ひと昔」とよく言いますが、この世界ではこれは「1年半」となります。つまりこの世界での1年半は“ひと昔”も前ということになります。

このような変化の激しい社会に、若い人々がかかわっていくためには、今より以上の思考と行動力をもって対応しなくてはならないと思うとき、若い人々にとって心身のバランスのとれた教育こそが最も大切であると思われま

す。

こんなときに学園では豊かな社会性と暖かい心を育てる教育—伝教大師の遺訓にそった“心”の教育が変わらずなされていることは本当にありがたいことだと思います。すばらしい教育理念のもとで充実した教員生活が送れましたことを感謝申し上げます、今後の学園のますますの発展をお祈り申し上げます。



このコーナーにお便り・情報をお寄せください。

学校の現状をお伝えするだけでなく、有意義な同窓会会報として本誌をお役立ていただけるよう、皆様からのお便り・情報をお待ち申し上げております。●開催したクラス会の様子、同窓会活動報告など。●お便り、お知らせ、近況報告など。(スナップ写真等をお添えいただければ幸いです。)●本誌へのご意見、ご感想、ご要望等、同封のご案内ハガキにご記入の上、どうぞお気軽に、比叡山高校広報誌・編集部までお送りください。同窓会皆様の声として次号より掲載させていただきます。

小川 和照先生

比叡山高校の皆さん。こんにちは。

私は今年3月まで宗教の授業を担当していた小川和照です。現在は九州・福岡の自坊(寺)で僧侶の務めに専念しています。退職して早や三ヶ月が過ぎましたが、カレンダーを見ると今でも「三塔巡拝の時期だなあ。」「中間考査は始まったかなあ。」など懐かしく思い出します。

私にとって6年間の教員生活は「あっ」という間でしたが、振り返ると数えきれない程の思い出が浮かんできます。授業中、脱線はしばしば。話に夢中になり気付くと終了チャイムが鳴つ



ていたり、また放課後、時間を忘れて生徒と討論し合った事もありました。そして中でも宗内生と寝食を共にして過ごした山家寮での生活は私自身にとって貴重な経験になりました。

それは朝・夕の勤行・掃除・托鉢等の実践活動において教師と生徒が一丸となり、行う中で心の深いつながりを持ち、助け合い、喜び合える関係を築くことができた事だと思います。

現在は比叡山高校で得た知識・経験を生かしつつ僧侶としての役割を少しでも実践できるように「道心」の教えを自らの心に刻み、日々の務めに励んでいます。

最澄上人は「道心」を説く中で「道を求める心」つまり目標をきちんと持ち、ひたむきに努力する心の大切さを述べられています。生徒の皆さんにおいても高校三年間の中で自分にとっての「道心」を見出し、それを磨き、有意義な学校生活を送って欲しいと思います。

合掌



頑張っています! No.6 OB & OG 登場

『夢に向かって』

調教助手 猪田 章人 (平成3年3月卒業)

今年三月に退職された前川先生より、私の体験談を語って欲しいと依頼を受け、こんな私でも何かのお役に立てればと思い筆を取りました。

私は現在、日本中央競馬会栗東トレーニングセンターで持ち乗り調教助手という仕事をしています。この仕事はレースに出る為の競走馬に騎乗して調教し、健康管理や手入れ等の世話をすることが主な仕事です。一人で二頭の馬を担当し、レースで勝つことを目標に毎日頑張っています。テレビ等でレースで走る前に馬を引いて歩いているのをご覧になった方もあるかと思いますが、私の仕事にはそれも含まれます。

さて、どうしてこの仕事を選んだのか。周りの友人、知人から幾度となく質問され、不思議がられてきたのですが、簡単に言えば、馬が好き、この仕事が好きと言うことになります。



比叡山高校に在学中の三年間は丁度オグリキャップが活躍した三年間だったのですが、当時の私は特に競馬に興味があった訳ではありませんでした。高校時代の私は将来何になりたい等の具体的な夢は何一つ無く、

大学へ行きたい、将来のことはそれから考えようと思っていたように記憶しています。大学に入って競馬に興味を持ち出すと競馬の仕事に憧れるようになり、自分の夢はこれしかないと思うようになっていました。ただ、思うだけで出来る仕事ではなく、そこからは、辛く長い牧場での修行時代が続くこととなります。朝早くから夜になるまでよく働きました。当然、この仕事に学歴は関係なく、本当に一からのスタートでした。同期の仲間も次々と辞めていく中で、私も嫌なことは沢山ありました。しかし辞めようと思ったことは一度もありませんでした。それは、トレセンへ入るといって夢を人一倍大きく大切にしていたからだだと思います。私は、「夢はそれに向かって努力すれば必ず叶う。」と信じています。昨年春、競馬学校の合格通知が来た時は、本当に心の底から喜びました。夢が叶った喜び、自分の道が正しかったのだという誇り、周りの全ての人々への感謝等、様々な思いが頭をめぐっていたような気がします。

現在、私は新しい夢に向かって歩き出しました。競馬の世界での夢は尽きません。この馬を勝たせたい。一つ勝てば次、重賞を獲ればG1をと夢は世界へと無限に広がっていきます。夢は努力すれば必ず叶う。私はこれからも夢を実現する為に頑張っていこうと思います。

最後に皆様の夢も叶いますように心から御祈り申し上げます。



どうしん トピックス

クラブ活動の結果 (平成12年8月現在)

運動部

【陸上】

全国高等学校駅伝競走大会(男女)

【バドミントン(男子)】

全国高等学校選抜大会個人優勝
 全国高等学校選抜大会出場
 全国高等学校総合体育大会団体三位
 アジアジュニア選手権出場

【軟式野球】

全国高等学校軟式野球選手権近畿大会準優勝
 近畿高等学校軟式野球選手権大会出場

【柔道】

全国高等学校総合体育大会個人準優勝
 フランスジュニア国際柔道大会個人三位

【水泳】

近畿高等学校水泳選手権大会出場



軟式野球部



水泳部



柔道部
(京都新聞社提供)



放送部

文化部

【放送】

全国高等学校総合文化祭出場
 NHK全国放送コンテスト出場
 NHK全国放送コンテスト朗読の部入選
 近畿高等学校総合文化祭放送文化部門出場

【囲碁】

全国高等学校囲碁選手権出場

【社会問題研究】

人権と民主主義を考える高校生の集い(全国大会)参加

【吹奏楽】

関西吹奏楽コンクール出場



吹奏楽部

《高校》

校長 森定 慈芳

教頭 八田 次郎、榎 大

教務課

北川 和夫、大崎 靖子、太田 稔、大西 素子
 木村 直行、澤井 敏行、杉村 宏、須佐美 隆
 増川 幹也

入試課

田中 正義、奥村 嘉朗、土橋 喜子、中川 純一
 服部 博司

進路指導課

水田 博之、井上 明美、小田 知則、曾我石 茂
 田川 千代子、渡邊 清

生活指導課

北村 重夫、大野 綾子、奥村 昌治、鎌倉 隆雄
 北村 由美子、櫻井 一、藤上 良信、正橋 真一
 松浦 正彦、山口 宏幸

同和課

井門 寛、富谷 智子、藤田 耕吉

類担当

I類 松村 実、宇野 桂子
 II類 中野 正樹、竹川 明治

1年担任

橋本 明、稲田 宏一、大路 六雄、梶川 和美
 加藤 浩司、門間 裕子、小林 義和、高尾 陽平
 辻本 千佳、平松 澄子、古塚 悟、松里 隆平
 光林 瑞勝、横井 陸

2年担任

西村 芳和、伊東 忠美、太田 吉宏、木田 惣一
 久保田 和子、児玉 政行、小西 威、潮崎 敦子
 中村 克久、三浦 嘉明、道田 雅美、矢澤 康博
 渡邊 雅信

3年担任

池田 一郎、飯田 和彦、池田 達穂、浦崎 香織
 鎌田 ユリ、日下 潤、小林 栄一、長田 德行
 野田 真肖、濱本 えみ、藤井 理恵子、堀池 善雄
 山本 三郎

図書・視聴覚課

小川 信之、赤井 功

保健課

早崎 晃健、平松 佳之、白井 あけみ、山口 弥生

事務職

西村 稔、石橋 能里子、奥平 真子、塚本 博一
 廣谷 初太郎

用務員・購買

中村 眞佐代、松本 哲夫、猪飼 廣子

《中学》

教頭 林 宏

教員

青木 義久、植村 雅志、尾石 志秀、大西 隆喜
 大西 匡里、小川 孝、押田 正彦、川那辺 敬司
 川幡 善勝、川村 正、久保山 雅香、小出 智美
 小林 由季、崎本 由子、濱田 浩英、松森 朱美
 宮本 一樹、山口 晃覚、矢野 友良、山本 揮志雄
 吉居 克広、渡邊 美和、宮本 愛子、ジャスティン・D・ミン

事務職

小倉 孝子

用務員

山本 美智子

山家寮

長山 弘範、山口 晃覚

平成11年度進路状況 (平成12年3月現在)

国公立大合格者 計44名

宇都宮大	1	横浜市立大	1	富山大	1	金沢大	3	福井大	1	信州大	2	岐阜薬大	1
名古屋工大	1	三重大	1	滋賀大	6	滋賀医大	1	滋賀県立大	6	京都大	3	京都教育大	3
京都工芸繊維大	1	京都市立芸大	3	大阪大	2	大阪教育大	1	神戸大	2	岡山大	2	広島大	1
山口大	1												

私立大学合格者数 計411名

北海道医療大	1	酪農学園大	1	流通経大	1	城西大	2	青山学院大	2	杏林大	1	慶応大	3
国学院大	1	成城大	1	大正大	4	東海大	2	法政大	3	明治大	3	立教大	1
早稲田大	4	福井工大	2	山梨学院大	1	松本歯大	1	朝日大	2	愛知学院大	1	愛知大	3
中京大	5	人間環境大	2	鈴鹿医療科学大	1	松阪大	1	四日市大	1	成安造形大	2	大谷大	4
京都外大	2	京都学園大	3	京都産大	33	京都女子大	6	京都精華大	4	京都造形芸大	3	京都橘女子大	6
京都薬大	1	同志社大	15	同志社女子大	5	ノートルダム女大	5	花園大	1	佛教大	13	立命館大	32
龍谷大	39	追手門学院大	6	大阪医大	1	大阪音大	1	大阪学院大	26	大阪経大	7	大阪芸大	1
大阪経済法科大	2	大阪工大	11	大阪国際大	2	大阪産大	9	大阪商大	2	大阪樟蔭女子大	2	大阪体育大	1
大阪電気通信大	3	大阪薬大	1	関西大	25	関西外大	7	近畿大	19	摂南大	1	相愛大	1
帝塚山学院大	1	阪南大	1	桃山学院大	2	関西学院大	10	甲南大	1	神戸学院大	3	神戸女子大	1
神戸薬大	5	武庫川女子大	2	流通科学大	1	帝塚山大	7	天理大	1	川崎医療福祉大	1	美作女子大	1
広島工大	1	広島女学院大	1	東亜大	1	立命館アジア太平洋大	1	二松学舎大	1				

準大学合格者 計1名

防衛大学校	1
-------	---

短期大学合格者 計53名

東北大医療技短	1	秋田大医療技短	1	星美学園短	1	東京女子体育短	1	滋賀県大看護短	1	滋賀女子短	2	滋賀文化短	1
京都大医療技短	1	京都府立医大医療技短	1	大谷大短大部	3	華頂短	4	京都外国語短	2	京都女子大短大部	2	京都文教短	6
光華女子短	1	嵯峨美術短	3	成安造形短	3	聖母女子学院短	2	大阪音大短	2	大阪学院短	1	大阪薫英女短	2
大阪産大短大部	1	大阪成蹊女短	1	関西外大短大部	6	甲南女子短大部	1	松蔭女子学院短	1	新見公立短	1	長崎ウエスレヤン短	1

専修・専門学校合格者 計48名

大津市民看護	2	堅田看護	1	済生会看護	1	華頂社会福祉	1	滋賀県歯科技工士	1	京都第一赤十字看護	1
京都桂病院看護	1	大阪労災看護	1	北信越柔整	1	京都デザインビジネス	1	京都国際建築技術	1	京都芸術デザイン	1
京都科学技術	1	大阪ハイテクノロジー	3	京都自動車	1	コンピューター総合学院HAL	3	修成建設	1	ビジュアルアーツ	1
中日本航空	1	中部日本自動車整備	1	京都理容美容	1	大阪ベリエベル美容	2	高津理容美容	1	ル・トーア東亜美容	1
叡山学院	1	京都音楽院	1	大原簿記	1	大阪会計	1	大阪リゾートスポーツ	4	大阪法律	3
大阪スクールオブミュージック	2	大阪コミュニケーションアート	1	大阪総合デザイン	1	マロニエ・ファッションデザイン	1	アミューズメントメディア総合学院	1	ヒューマン・スポーツカレッジ	1

就職 計8名

製造	2	運輸・通信	2	サービス	2	プロ野球	2
----	---	-------	---	------	---	------	---

過年度の高等学校入試状況

年 型	12年度			年 型	11年度			10年度		
	受験者数	合格者数	倍率		受験者数	合格者数	倍率	受験者数	合格者数	倍率
I類専	188	142(4)	1.32	商専	69	64(3)	1.03	82	69(1)	1.19
I類併	431	331	1.30	商併	97	71	1.37	107	61	1.75
II類専	127	116	1.09	普専	189	177	1.07	207	193	1.07
II類併	930	908	1.02	普併	1138	1093	1.04	1222	1153	1.06
合計	1676	1479	1.13	合計	1493	1408	1.06	1618	1476	1.10

()内の数字は第2志望合格者を表す。

受験者平均点

	12年度	11年度	10年度
国語	70.2	65.5	57.7
数学	49.6	54.1	60.9
社会	50.7	59.4	56.5
理科	61.1	70.6	64.5
英語	62.9	66.4	75.0
全教科平均	58.9	63.2	62.9

合格基準点

コース	12年度	コース	11年度	10年度
I類専	190	商専	130	155
I類併	220	商併	170	200
II類専	220	普専	210	220
II類併	250	普併	250	270

●入学試験説明会日程●

■比叡山高等学校（保護者対象）

月 日	会 場	時 間
10月22日(日)	本校 比叡山高等学校	10:00から
10月29日(日)	瀬田 ホテルニューサイチ・アネックス	10:00から
11月 4日(土)	山科 ホテルプライトンシティ山科	15:00から
11月11日(土)	南郷 南郷公民館	10:00から
11月11日(土)	志賀 志賀コミュニティセンター	15:00から
11月12日(日)	大津 大津市民会館	10:00から
11月18日(土)	堅田 スポーツセンターコジャック	15:00から
11月19日(日)	守山 守山市民ホール	10:00から
11月25日(土)	本校 比叡山高等学校	10:00から

■比叡山中学校（保護者対象）

月 日	会 場	時 間
11月11日(土)	中学体育館	10:00から
12月 2日(土)	中学体育館	14:00から

※詳細は入試課まで

●費 用（平成13年度予定）●

	中 学	高 校
受 験 料	13,000	13,000
入 学 金	100,000	100,000
授 業 料	279,000	300,000
施設設備費	96,000	96,000
教育充実費	61,800	64,200

●入学試験要項●

■比叡山高等学校

●設置学科・募集定員

学 科	類 別	募 集 定 員
普 通	I 類	160名
	II 類 (II S類含む)	240名
計		400名

●選考方法

学科試験（5教科）各100点40分

面接（専願者）

●出願期間・試験日・合格発表

出願期間：1月12日(金)～1月18日(木) 正午まで

試験日：1月25日(木) 学科・面接、1月26日(金) 面接

合格発表：2月2日(金) 午前9時 本校

※願書受付は午前9時から午後4時まで、土曜日は正午まで。(ただし、日曜日除く)
 ※優先入学制度（一般・宗内生）・予備選考制度（運動選手）についてのお問い合わせは、入試課まで

■比叡山中学校

●募集定員

120名(共学)(専願・併願制)

●選考方法

学科試験/国語、社会、算数、理科各100点40分

面接(グループ)

●出願期間・試験日・合格発表

出願期間：1月4日(木)～1月7日(日)

試験日：1月13日(土)

合格発表：1月16日(火) 午前10時 本校

※願書受付は午前9時から午後4時まで、最終日のみ正午まで。

比叡山高等学校

交通機関/京阪電鉄石坂線 坂本駅下車 徒歩10分
 JR湖西線 比叡山坂本駅下車 徒歩20分
 所在地/〒520-0113 滋賀県大津市坂本4丁目3-1
 TEL077-578-0091(代) FAX077-579-3413

比叡山中学校

交通機関/京阪電鉄石坂線 坂本駅下車 徒歩5分
 JR湖西線 比叡山坂本駅下車 徒歩15分
 所在地/〒520-0113 滋賀県大津市坂本4丁目5-31
 TEL077-578-0132 FAX077-579-4490